

無料

デザインを
リニューアルしました♪

すくらむ

川崎の男女共同参画情報誌



民間と行政の隙間で活躍する

今ドキの **NPO** 事情と女性

給与、雇用環境、業務内容、キャリアパス

NPOってどんなところ？ Q&A

地域でイキイキ活動中！川崎のN女紹介コーナー

vol.

57

2017.06

<http://www.scrum21.or.jp/>

特集
Special Contents

今ドキの NPO 事情と女性

給与、雇用環境、業務内容、キャリアパス

『N女の研究』の著者・中村安希さんに、女性の新たな働き方としてのNPOの魅力と課題についてご寄稿いただきました。

なかむら あき
中村安希さん
ノンフィクション作家



photo by 亀井重郎さん

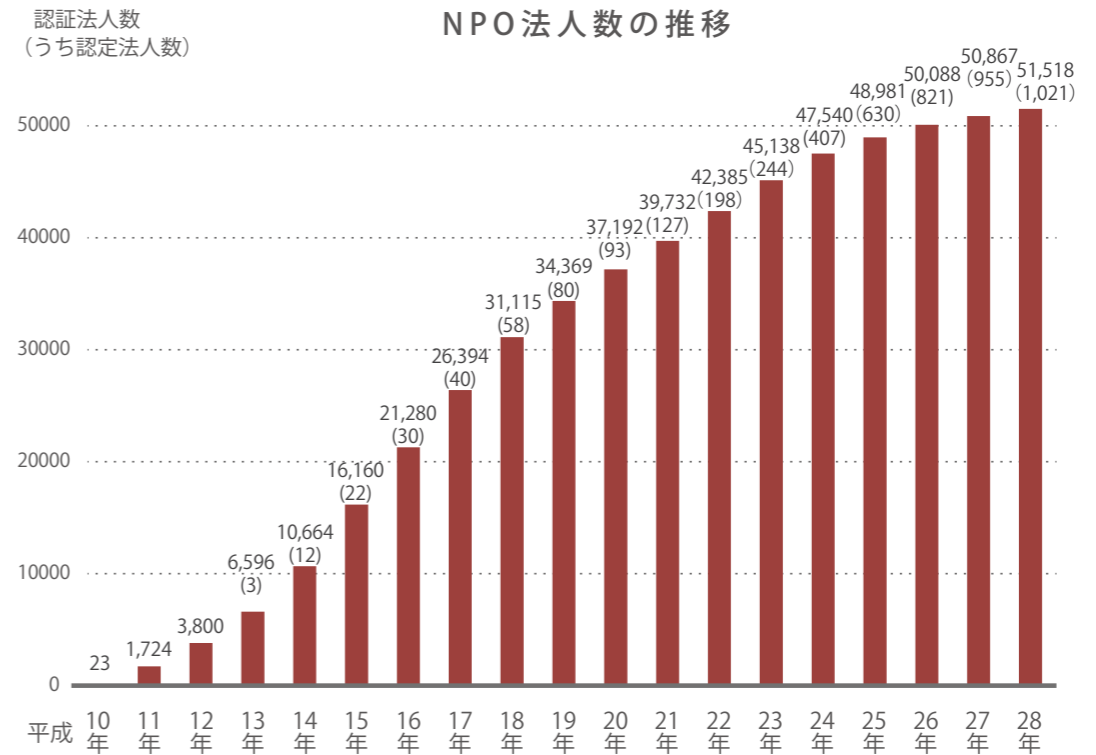
「キャリアウーマン」という言葉を聞いて、あなたは何をイメージするだろう。きっと、大企業でバリバリ働く女性の姿を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。では、「社会貢献」はどうだろう。休日に地域活動に参加したり、ボランティアとして困っている人を支援するようなイメージだろうか。他にも、女性の活躍、仕事と育児の両立、寿退社、在宅ワーク、職場復帰、など、私たちが普段何気なく口にする言葉には、それぞれに一般化されたイメージがある。そして私たちは、それら言葉の意味を知った気になって生きている。しかし、本当にそうだろうか？

この数年間、私は「N女」と呼ばれるこれまでは少しタイプの違う女性たちへの取材を続けてきた。言葉の定義自体はシンプルで、要するに「NPOなどのソーシャルセクターで働く女性たち」を指す造語なのだが、彼女たちの生き様は、とても一言では言い表せない多様性と意外性に満ちていた。取材を通して私は、在宅ワークで社会貢献事業を手がけるキャリアウーマンの女性や、結婚によって職業人としての可能性が広がったと話す女性に出会った。二児を育てながら幹部職員としてフルタイムで働く女性から

「仕事と育児の半立」という考え方を教わり、また別の女性からは「うちの職場では男性の寿退社が多いです」という話も耳にした。しかも、私が取材した20～30代のN女たちは、学歴や職業上の地位も高く、NPOに転職する前は500万円から1000万円程度の収入を得ていたということである。ではなぜ彼女たちはNPOを選んだのか？N女たちの話をもとに、就職先としてのNPOの可能性を「給与」「雇用環境」「業務内容」「キャリアパス」の4点から探してみたい。

給与

NPO業界の給料は、残念ながら高くない。フルタイム職員として働いたとしても、大抵の場合、年収は250万円に少し足りない程度だろう。ただし近年の傾向として、NPOとはいえ「経営」に力を入れる団体は増えてきている。取材では成功している運営モデルのNPOを選んだというのもあるが、私が取材したN女のうち、約半数がサラリーマンの平均年収程度の収入を得ていた。少なくとも、社会貢献事業や支援活動が、ボランティアなど人の善意や自己犠牲



(出所) 内閣府NPOホームページ<https://www.npo-homepage.go.jp/about/toukei-info/ninshou-seni>
(注) 認定法人数及び認定法人数は、各年度末の法人数を示す。

に頼る形で行われていた時代は終わりつつある。取材したN女の中には、大手企業を辞めてNPOへ移ったというケースだけでなく、新卒や第二新卒*1として優良企業からの誘いを断り、NPOへフルタイム職員として就職した若者もいた。団体によって差はあるものの、NPOを一つの就職先として考える人は若い世代を中心に増えている。

雇用環境

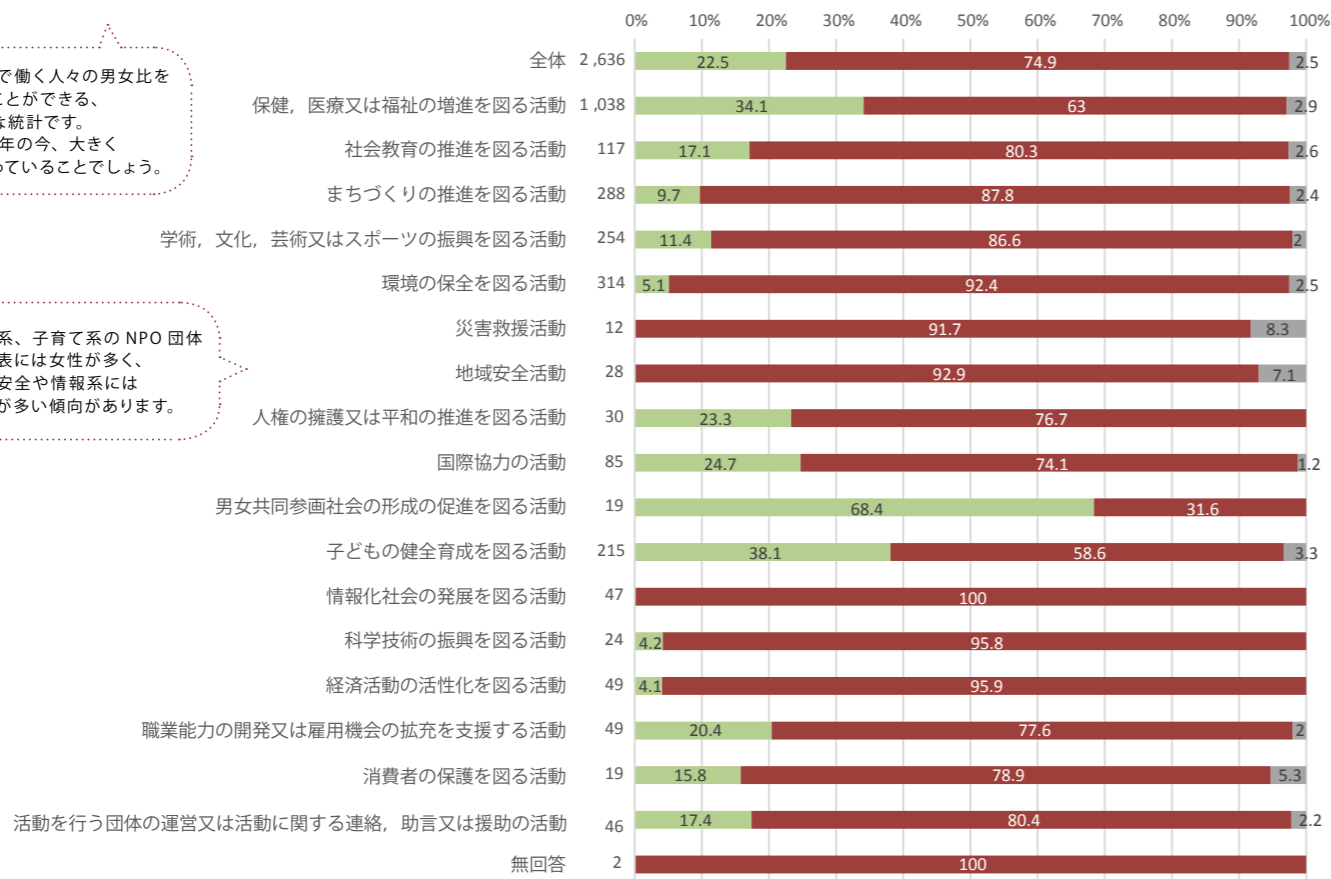
給料は確かに減ったけれど、NPOへ転職して良かったというN女は多い。理由は人によって違うが、企業勤め時代よりも自由が効く「柔軟な働き方」を理由に揚げたN女もいた。中でも興味深かったのは、病児保育問題に取り組むNPO法人『ノーベル』で働く吉田綾さんの例。吉田さんは、元はリクルートで働くバリキャリア女性*2だったが、第1子出産後に復帰した職場で育児と仕事の両立に苦しみ、結果とし

てNPOへ転職した。その結果として、第2子の妊娠と出産をはさむ約1年半、普通であれば産休・育休中や離職しているはずの期間も在宅で仕事を続け、さらにフルタイム職員として職場に完全復帰した現在は、週に3日だけ9時から17時まで事務所で働き、残りの2日は自宅から仕事をするという極めてストレスの少ない働き方を実現している。伝統的な雇用文化を持つ会社組織とは違い、スタッフで話し合いながら理想の働き方を模索していけるのはNPOの強みと言えるし、こうした柔軟性は、出産やパートナーの転職などで「同じ条件ではずっと働き続けられない」という女性たちにとって心強い要素となっているようだ。一方で、NPOの雇用環境の厳しさを指摘する人もいた。少人数のスタッフで回している団体が多いため、いざ休みたと思った時に代わりが見つからなかったり、誰か一人でも抜けると、他のスタッフへの負担が急激に増えて雇用環境が悪化するというデメリットもある。

*1 学校を卒業後1～3年で転職または就職しようとする層を指す。概ね25歳前後。

*2 バリバリ働くキャリアウーマンを意味する造語

主たる活動分野別の特定非営利活動法人の代表者に占める女性の割合



(出所) 経済産業研究所『平成18年度「NPO法人の活動に関する調査研究 (NPO法人調査)」報告書』(平成19年)

NPOで働く人々の男女比を知ることができる、貴重な統計です。2017年の今、大きく変わっていることでしょう。

福祉系、子育て系のNPO団体の代表には女性が多く、地域安全や情報系には男性が多い傾向があります。

業務内容

では実際にNPOで働くとはどういうことなのか？一言で言うと、「何でもやる」のがNPOでの仕事である。人数が少なく、人事もきっちりとは体系化されていないことが多いNPOでは、周りと相談しながら自ら行動し、マルチタスクをこなしていく必要がある。例えば、ホームレス支援に取り組むNPO法人『ビッグイシュー基金』の瀬名波雅子さんは、団体で必要とされている人材を次のように語っている。「主体的にもの考える人、ものおじせずに意見が言える人、チームで動ける人」それから「周りをよく見ている、よく気がつく人」。個人的には、縦割り組織で一つのことに黙々と取り組むのが得意と言われる人よりも、マルチタスク型で、横つながりの人間関係が得意(水平型コミュニケーションが活発)で、なおかつ周りのことを気かけられる人にこそ、より活躍のチャンスがあるのではないと思う。

キャリアパス

NPOで働くことは、キャリアの形成にどのような影響があるのか？そもそも一度勤めた会社から離職する行為自体が、あまりポジティブに考えられていない日本では、NPOかどうかに関係なく転職市場は自由とは言えない。営利、非営利、行政など組織の形態や大小を問わず、能力と興味に合わせてどんどん転職するのが当たり前という海外とは状況が異なる。また、企業文化や社会人のイロハなどへのこだわりが強い日本の労働社会では、NPOでの勤務経験を生かしてさらにキャリアアップを目指せるような環境は残念ながら整っていない。ただ、取材したN女の中には、民間企業からNPOへ転職し、その後再び民間企業へ再転職したという例も、わずかながらあった。N女たちの「前例がないなら、私が例になります」という開拓者精神が今後、NPOへの、そしてNPOからさらにその先へと続くキャリアパスへの新しい道筋となっていく可能性はある。

NPOという新しい労働市場について今日はざっくりと書かせていただいた。ただし個人的には、NPOに挑戦するかどうかということに関係なく、女性としてキャリアを積む上で大切なのは、柔軟なものの考え方ではないかと思う。NPOへ参入した女性たちにはそうした気質があった。無理や我慢をするのではなく、だからと言って諦めるわけでもなく、方法を変えればやれるかも?と考える人たちである。日本社会には解決しなければいけない多くの課題があるし、労働市場には女性に不利になる風習もまだまだたくさん残っている。それでも、課題を解決しながらお金もしっかり稼ごう、結婚や出産を逆手にとって寿転職(退職ではなくて!)してしまおう、フルタイ

ム職員だからと言って週に5日も出勤しなくてもいいんじゃないの、といった発想の転換が新しい労働市場を作り出しつつある。そういう意味も含め、「NPOで働く」という新たな職業観の誕生には、社会を変えていく様々な可能性が秘められているのだ。

中村安希さん

ノンフィクション作家。1979年、京都府生まれ、三重県育ち。カリフォルニア大学アーバイン校芸術学部演劇科卒。日米での3年間の社会人生活を経て、684日47カ国に及ぶ取材旅行を敢行する。2009年その旅をもとに書いた『インバラの朝』(集英社)で開高健ノンフィクション賞を受賞。ほかに『Beフラット』、『食べる。』、『リオとタケル』などの著書がある。



NPOってどんなところ? Q&A

- NPOとは?** Non-Profit Organizationの略称で、「営利を目的としない」活動を行う団体のことです。特定非営利活動促進法(通称NPO法)には、特定非営利活動として福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など、20種類もの幅広い活動が定められています。政府や自治体、企業だけでは行き届かない、社会の多様化したニーズに対応しており、年々その数は増え、今後もさらなる展開が期待されています。
- お金を稼いではいけないの?** 「営利を目的としない」とは、サービス等は無償で行うことではありません。したがって、金銭的な見返りを求めないボランティア活動とは異なり、収益を目的とする事業を行うことは認められます。ただし、事業で得た収益は、人件費や消耗品費、交通費等の必要経費に充て、さらに剰余金(利益)が発生した場合は、構成員に配分せず、次年度の事業に使います。
- NPO法人、認定NPO法人って?** NPOうち、NPO法に基づき法人格を取得した法人を「特定非営利活動法人(NPO法人)」といいます。さらにNPO法人のうち、一定の基準を満たし、所轄庁の「認定」を受けた法人は「認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)」となります。認定NPO法人になると、税制上の優遇措置を受けることができます。

(参考ホームページサイト)
 内閣府 NPO <https://www.npo-homepage.go.jp/>
 川崎市 NPO 法人関連 <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/32-7-6-0-0-0-0-0-0-0.html>
 かわさき市民活動センター <http://www1.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/>

地域でイキイキ活動中！ 川崎のN女紹介コーナー

人と人とのつながりの濃さと広がりを感じる仕事

「映像のまち・かわさき」推進フォーラム 寺川小百合さん

NPO 法人かわさき MOVEARTOO (応援) 隊に所属し、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの事務局を担当しています。この2つの組織を足場に、映像に携わる仕事や活動をおこなっています。市内で行われたロケ地のPRや映像を使った地域イベントを企画・運営し、川崎の魅力を日々発信中です。

NPOに携わる前、広告代理店で販促の仕事をしていたのですが、営業成績が重視されることに違和感がありました。もともと接客の仕事が好きだったこともあり、直接お客さんと関わって、反応を見る仕事が好き…そう思っているうちに今の職場に辿り着きました。趣味はバンド活動。趣味のつながりが仕事に活きたり、仕事のつながりが趣味に活かせることもあり、その相互作用を楽しんでいます。

NPOの魅力は、企画の決定までに時間がかかる企業に対し、やりたいことを実現できる可能性が高いこと。アイデア豊富で自発的に動きたいタイプの方はNPOの仕事に向いているのではないのでしょうか。



イベント作りには、文化祭のような楽しさが！

合言葉は、誰もが参加できる楽しいダンス！

Dance Laboratory 代表・園部由美さん

2014年に団体を結成、今年4月にNPO法人になりました。障がいのある人の運動量は一般の人の半分以下となっていて、地域にも障がい者が気兼ねなく参加できる運動プログラムはほとんどありません。障害の有無にとらわれず、身体を動かすことで地域交流できないか…そんな思いからダンスラボラトリーを立ち上げました。

結成から3年、徐々に活動の幅も広がり、イベントに発表会に忙しい毎日を過ごしています。ダンスが上達した子は、アシスタントとしてレッスンに付き添います。髪をセットするのが得意な子は、発表会の時、みんなのヘアアレンジをしてくれます。活動が安定したら、そういった子達に働く機会も提供できれば…と新たなビジョンが広がります。ダンスを通じてそれぞれの良い部分が伸びていく。その一人ひとりの成長を、点と点で結んで糸にして、縦糸と横糸の整理をするのが私の仕事だと思っています。



東京パラリンピックのエキシビジョンに出場するぞ！

NPOを支援するNPOを設立

ザ・事務方 代表・笹子まさえさん

2016年秋に「ザ・事務方」を立ち上げました。NPOをはじめとする市民団体の事務作業を支援するNPOです。今年1月には法人格を取得しました。

私は本業の音楽関係でNPOを立ち上げた経験があります。また、現在所属する認定NPO法人「アクト川崎」では事務局長として、現在、2つの施設の運営に携わっています。NPOを設立すると立ち上がるのは膨大な事務作業の数々。チラシの発送や各種報告書類の作成、助成金の申請、会計報告…活動のジャンルは違っても、どんな団体も抱えている共通の課題です。規模の小さい団体は“ひとり事務局”なんてことも少なくありません。ミッションをクリアするための団体が事務作業に追われ、当初の目的が達成できない。こうした状況をサポートしたいという思いから、「ザ・事務方」を設立しました。

会員は現在12名、これからサポーターの募集を始めるという段階ですが、今後ミッションを持った団体のサポートをできるのを楽しみにしています。



裏方として地域のNPOを支えます！

楽しんでやれば必ず成功する

とどろき水辺の楽校 理事・多摩川(鈴木)眞智子さん

水辺の楽校は、水辺を活用して子ども向けに自然体験学習や環境学習を実施する活動で、全国各地でおこなわれています。多摩川沿いに桜を植える活動がきっかけで、川崎エリア、とどろきエリアの水辺の楽校に携わっています。北海道・石狩の出身、多摩川の風景は故郷と似ています。川の環境に惹かれて、水辺に触れ、水辺を守るこの活動に携わり、15年が経ちました。

年30回、小、中学校で環境学習の講師をしています。他にもNPO活動をやっていることもあり、1年間の休みは30日程度。忙しい毎日ですが、楽しいから続いています。ダメだと思ったものは潔くやめる決断も、時には必要。それでも残ったものを、楽しんでやるのみです！

子どもは難しい話をするよりも、経験することで実によくさんのことを理解します。植物、魚、野鳥、昆虫…子どもが自然に触れ、イキイキと過ごしている様子を見るのがなよりの喜びです。



ミッションを持って！

「心のごちそう」をつくり、つたえ、地域とつながる

おと絵がたり 代表・加藤妙子さん

「おと絵がたり」は、音・絵・語りが合わさったもの。オリジナルの影絵をスクリーンや壁に映し、歌や楽器を合わせて、川崎をはじめ様々な地域に伝わる昔話や物語を演じます。お話は「心のごちそう」です。お話が伝えてくれる、命の大切さや生きる力、感動する心を、演じる私たちとお客さんと一緒に味わいます。

美術を学び、イラストレーターとして勤めた経験を活かし、私は影絵制作を担当しています。絵巻や効果音道具を作るワークショップもおこなっています。ワークショップの参加者に演者として出演してもらうなど、お客さんと一緒になって作品を作り上げていきます。「物語の中にいたようで楽しかった」、「アニメとは違う面白さがある」という声を聞くと、やりがいを感じます。

住吉小学校での読み聞かせから始まったこの活動も、他団体との協働発信など広がりを持たせながら、これからも温かい「まちづくり」に貢献できればと思っています。



演者とお客さんが一体になれるような空間を

本公演のお知らせ(新作や絵巻をごらんいただけます!) 会場: 中原市民館ホール、先着各回375人、入場無料
日時: 9月18日(祝) 昼の部 13:30 開場、14:00 開演 / 夜の部 18:30 開場、19:00 開演

かわさき市民活動センター

もっとNPOについて知りたい…
NPOを立ち上げてみたい…
そんな時はかわさき市民活動センターに。
たくさんの情報が集まっています。
フリースペースで打合せもできます。

川崎市中原市民館となり
JR南武線、JR横須賀線、JR湘南新宿ライン
東急東横線、東急目黒線「武蔵小杉」駅から徒歩3~5分



〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12 TEL: 044-430-5566 <http://www1.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/>



女性の視点で考える防災の知恵袋 06

地震での通電火災 ～その時あなたはどんな対策をしていますか？～

早いもので熊本の震災から1年が経ちました。4月に政府の地震調査研修推進本部は、特定の地点で今後30年以内に地震が起こる確率を示した「全国地震動予測地図」*の2017年度版を公表しました。私たちが住む首都圏は、震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が26%を超えています。

地震の「揺れ」に備えることも大切ですが、揺れの後に発生する「通電火災」についても知っておく必要があるかと思えます。通電火災とは、停電が復旧し、通電が再開される際に発生する火災のことをいいます。22年前の阪神淡路大震災

では、地震後の通電火災で亡くなった方々も多かったそうです。助かる命も通電火災によって犠牲になることがあるということです。

皆さんは、地震後の火災に対する対策はされているでしょうか？家の中では普段の生活から火災対策ができていますとより安心です。防災グッズも日々進化しています。すでに火災報知器の設置は義務化されていますが、それだけでは安心とは言えません。今回は、普段の生活でも役立つ、手軽で簡単な火災対策グッズをご紹介します。

*全国地震動予測地図は以下のウェブサイトで見ることができます。地震ハザードステーション <http://www.j-shis.bosai.go.jp/>



左：感電ブレーカーアダプター

地震発生時に設定値(震度5強または6弱)以上の揺れを感知したときにブレーカーを落としてくれる器具です。不在の時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に、通電火災を防止する有効な手段になります。

右：投下型初期消火器

火災が発生した場合に、この液体の入ったボトルを火の中に投げ入れます。見慣れている消火器と違いコンパクトです。完全消火には対応できませんが、台所でフライパンの油が燃え上がった際に投げ入れるなど、日頃から準備していると安心です。

女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクト (通称：JKB)

「怖い女」というレッテル

小学校まで、女性からとだって差別されることなどないと思っていた。当時、学校運営を考える計画委員の長をしていた。全学年の学級委員と議題に沿って物事を決めていく。そうしたことは女性もしているし、できる。私はそう思っていた。できないことなどない、と。▼組織の方針を決定する。学校という小さな社会で、女性がそうした役目を果たすことは自由で自然だった。なので、歳を重ねた今もマネージャーや経営責任者などに就くのは「自然」なことと考えている。▼だが実社会はどうだろう。そういう立場ではっきり意見を述べたり、男性と互角に仕事をしたりすると男性から「怖い」と言われる。「男。女じゃない」と。責任ある仕事を、裁量権をもって決め込んでいく。そうして仕事を進めると、「怖い女」

「面倒」と言われるのだ。「おばさん化」という人もいる。▼私は私のままなのに、そうしたまなざしがなぜ向けられるのか。▼面倒だから、時に合わせて演じてチャームに接してみたりもする。しかしそのたび猛省する。「男性は頼られ、甘えられ、尊敬されて本領を発揮するもの」「女性はかわいくてなんぼ」というジェンダーバイアスが、バリバリ仕事をする女性 = 怖いというレッテルを生んでいる。演じて接することは、そのバイアスに同意していることと同義だ。▼言わずに演じる人が1,000人いたら、1,000人分のバイアスが量産される。「怖い女」のレッテルは消えない。言わずに演じることをやめる。そうして初めて、仕事で自分らしさを発揮できる土壌が耕されることになる。(し)

10 すくらむコラム

お知らせ

シングルファーザー事例集

『みんなどうしてる？川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』

かわさきの男女共同参画データブック

『数字で見る 川崎市におけるDVの現状と市民の認識』を発行しました。

2017年3月に、上記2冊の冊子を発行しました。すくらむ21館内に配架していますので、ぜひご覧ください。すくらむ21のサイトからダウンロードできます。また、送付のご希望も承ります。

シングルファーザー事例集

『みんなどうしてる？川崎市に暮らすひとり親男性に聞きました』

シングルファーザー事例集は、市内在住のシングルファーザーの声をもとに、子育て、家事、仕事に関する悩みや工夫、考え方を紹介しています。日本においても川崎市においても、シングルファーザーはまだまだ少数派。シングルファーザー当事者の生活の参考にさせていただければ、そして当事者だけではなく周囲の方にもシングルファーザーの生活について理解を深めていただければ、そんな思いで作成しました。

シングルマザーと比べると、社会的制度も相談できる人も少なく、職場でも理解されにくい状況です。シングルファーザー支援の活動、とてもうれしく思います。(当事者の声)

ロールモデルがなく、常に手探りの活動と不安との戦いでした。参考にさせていただきます。(当事者の声)

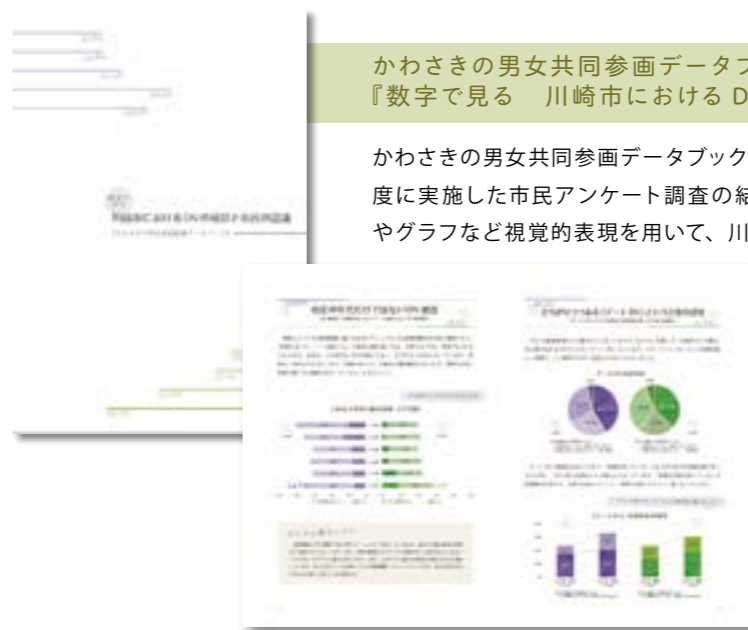


かわさきの男女共同参画データブック

『数字で見る 川崎市におけるDVの現状と市民の認識』

かわさきの男女共同参画データブックは、川崎市と当センターが平成26年度に実施した市民アンケート調査の結果を基に、作成したものです。数値やグラフなど視覚的表現を用いて、川崎市のDVの現状をわかりやすくまと

めています。女性だけでなく男性の約4人に1人が暴力を受けた経験があること、DV被害が幅広い年代で見られること、前回の市民アンケート調査結果との比較から、「デートDV」の言葉の認知が広がったことなどが明らかになりました。





BOOKS



2017年4月発売
 (著者) チママンダ・ソグスイ・アディーチェ
 (訳) くぼたのぞみ
 (発行) 河出書房新社
 (価格) 1,200円(+税)

『男も女もみんなフェミニストでなきゃ』

ジェンダーに関する問題は男女に等しくある。フェミニズムはそれをみんなで解決すること——。世間に喜ばれない、男嫌いといった「フェミニズム」や「フェミニスト」という言葉のステレオタイプの組み替えを試みた一冊。書店で初めて見た時は、嫌悪感のある人にとってなんとセンセーショナルなタイトルとされたけれど、読み進めていくうちに、このタイトルでなきゃ意味がないと実感。ナイジェリア人である著者の文章からは、性別による

差別には、人種差別なども複雑に絡み合っていることをうかがい知ることができます。そうした「複合差別」によって女性たちが抱える課題を、どのように解決していくか——その答えは普遍的で、世界共通のもの。読みながら思わず「うんうん、そうそう」と深く頷いてしまうほど。TV番組「TEDトーク」での話を書籍化。世界27か国で刊行されています。100ページ程度なので一気に読了。オススメです。



2016年9月発行
 (著者) 長田英史
 (発行) 芸術新聞社
 (価格) 1,600円(+税)

『場づくりの教科書』

「場」は人々の内面を反映したもので、人間関係で成り立つもの。そう筆者は言います。子ども食堂、コミュニティカフェ、子育て広場、親子サロンなど、近年、公共施設以外での大小無数の「場」が地域のあちこちに生まれています。この本は、20年にわたる活動経験から導き出された、そうした「場づくり哲学」を、筆者独自の視点でぎゅっとまとめた一冊です。果たして「場」とは何か。「場所」という言葉と何が違うのか。場の運営の具体的な

方法などが掲載されています。場の運営は関わる皆の想いが反映され、信頼のもとに運営していくことが大切。そのためのツールである会議の運営方法なども具体的で魅力的。「ものごとが決まる」とは、どういう意味なのか、どこで何がどのように決まったらそれは「決まった」と言えるのか、トップダウン型の組織とフラット型な組織との違いなど、実践的な内容満載。仕事や活動をする際のスタッフとの共通言語のすり合わせにお勧めです。



2017年2月発行
 (制作) 岩手大学LGBTs学生団体Poi

『Poi』

とてもいいなと思ったので紹介。「あたりまえ」にクエスチョン!——そんなサブタイトルがついたこの冊子は、ありのままに生きられる社会をめざし、LGBT(エルジービィティー;ゲイ・レズビアン・バイセクシュアル・トランスジェンダーの総称)といったセクシュアルマイノリティへの理解を深めるために作られた冊子です。それを阻むものとしての「あたりまえ」を問うています。あなたの性別は何ですか?という質問には、性別を構成する要素には3つあり、それらの組合

せで決まること、性は多様であることを伝えています。また、昨今のLGBTの個別定義や考え、架空の人物を想定して性別を考えてみたり、その人が女性/男性らしくするのがよいのかどうかを考えるページもあり、実に秀逸。13人に1人がセクシュアルマイノリティと言われますが、この考え方を理解すれば、きっと誰もが楽になれる。そんな気づきを得ること間違いなしです。この機会にぜひ!以下のURLから閲覧できます。

<https://poi-iwateuniv.amebaownd.com/posts/1897337>



手軽に作れる!ママも子どもも喜ぶパパ recipe



パルミエ



平成29年3月25日に開催された「パパと子どもでいっしょに焼き菓子づくり」で大好評だった「パルミエ」のレシピをご紹介します。パルミエとは、フランス語で「ヤシ」のこと。焼きあがりには、それぞれ個性があって楽しいですね!

材料 (約10枚分)

- 冷凍パイシート(20×11cm)……………1枚
- グラニュー糖……………約60g

作り方

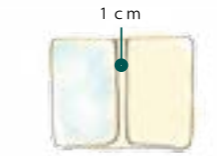
01

解凍したパイシートの表面にハケで水ぬり、グラニュー糖をまぶして押さえてなじませる。



02

両端から中央にむかって折り曲げ(中心は1cm弱あける)、表面に水をぬって片面にグラニュー糖をまぶす。



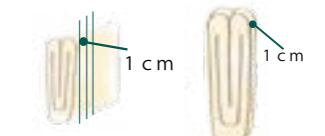
03

2面を折り重ねてラップで包み、冷凍庫で約10分間冷やす。



04

包丁で約1cm幅にカットして、切った断面にグラニュー糖をまぶす。



05

断面を上にしてプレートに並べる。



06

210℃のオーブンで15分ほど焼いたら完成。(約13分焼き、途中で裏返して、その後2分焼くとよい。)



point 冷凍パイシートは、室温が高いとベタつきが出てくるので、冷えた状態で手早く作業できると good!

recipe 瀬戸 智子さん 製菓学校での実習指導、障がい者の地域活動センターにて製菓・製パン指導。社会福祉士。

イクメン研究所メンバー募集中! FB イクメン研究所 <https://www.facebook.com/scrum21.ikimen/>

イクメン研究所では研究員を募集しています。「イクメン」とは、地域でイキイキと活躍する男性(メンズ)のこと。男性自身が家庭でイキイキと活躍するためのあり方を研究・発信しながら、地域のなかでパパネットワークを広める活動をしています。ご興味のある方はFacebookページより申請していただくか、すくらむ21までお問い合わせください。

Wi-Fi 環境整備しました。

利用者アンケートで多くご要望いただいております Wi-Fi 環境を整備いたしました。ホールを除く有料施設につきましては Wi-Fi がつながるようになりました（一部、部屋の位置によっては電波が微弱になる箇所がございます）。利用方法については窓口までお問合せください。



ノートパソコンが新しくなりました。

第3研修室、情報提供室及び利用者向け貸出用のパソコンが新しくなりました。OSが Windows10 に、Office も最新のものになり、パソコンの研修から資料作成まで幅広くご利用いただけます。また、第3研修室についてはプリンターも併せて更新。より多種類の用紙への印刷に対応いたします。



形態：ノート PC	メーカー：hp	型名：ProBook450 G3/CT
プロセッサ：インテル Core i5-6200U	画面：15.6 インチワイド HD 液晶ディスプレイ	OS：Windows10Pro(64bit)
HDD：500GB (SATA2 7200rpm)	メモリ：4GB	ドライブ：DVD スーパーマルチドライブ
ソフト：Office Home and Buisness2016	その他：無線 LAN、USB ポート×4、D-Sub (15 ピン) ×1、HDMI ×1、HD720P Web カメラ	

情報誌「すくらむ」表紙デザイン決定！

当センターでは、広く男女共同参画を推進していくことを目的に、市民向け男女共同参画情報誌「すくらむ」（年3回発行、各5000部）を発行しています。市内公共施設、地元の信用金庫、病院、女性団体などで配布しており、Webでも公開しています。

この度、性別に偏ることなく、より多くの方に手にとっていただけるようなニュートラルなデザインにしたいという思いから、リニューアルを試みました。

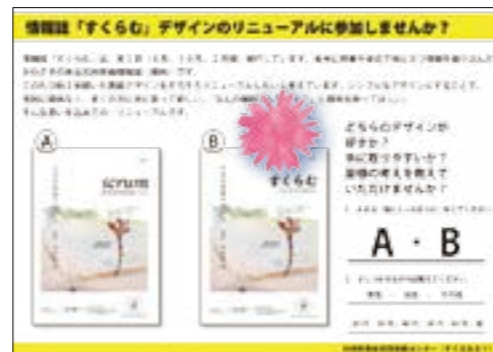
アンケート実施

内容：A：アルファベット案、B：ひらがな案

期間：平成 29（2017）年4月30日～5月12日

方法：シール投票、アンケート記入、インタビュー

総勢 107 名の方々にご応募いただき、A 案 50 票、B 案 57 票という接戦の結果、ひらがなのタイトルに決定しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。今後も、より多くの方に読みやすく分かりやすい冊子を提供できるよう工夫を重ねていきます。本号には読者アンケートも挟んでおりますので、ご協力よろしくお願いたします。



↑施設を利用された方々に窓口で配布したアンケート用紙



←館内入り口で行ったシール投票

かわさきの男女共同参画情報誌

すくらむ

発行年月日 平成 29（2017）年 6 月
編集・発行 川崎市男女共同参画センター（すくらむ 21）
所在地 〒213-0001
川崎市高津区溝口 2 丁目 20 番 1 号
ホームページ <http://www.scrum21.or.jp/>
電話 044-813-0808
FAX 044-813-0864

R70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

この冊子は、古紙パルプ配合率70%の再生紙を使用しています。このマークは、3R 活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。



植物油インキ（植物油、または植物油を原料としたエステルを一定割合以上含まれたインキ（インク））を使用しています。